

# ☆児童たちの活躍・学校生活の様子☆

## 【登下校の様子】



バスを降りてからしっかりと並びます

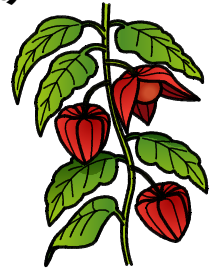
バスに乗るときには消毒をします



## 【授業の様子】



生き物ランド



学び合い



英語



## 『夢はでっかく 根は深く』

このことばを聞いたことがある人は結構たくさんいるのではないのでしょうか。これは、本県足利市出身の書家であり、詩人の相田みつをさんのことばです。いろいろな解釈の仕方があるようですが、大きな木を育てるためには、それに見合った深く大きな根が必要だということから、大きな自分の夢を育てるためには、それに見合った深く大きな努力が必要だ、土台となる部分が大切なんだというところでしょうか。

では、実際には木の根はどのくらいの深さまで張っているのでしょうか。

ここで問題です。10m位の高さのある木の根の深さはどのくらいでしょうか。①約10m ②約5m ③約2m ④約1m

木の高さと同じくらいと考える人が多いのではないかと思います。実は1m程度。長くても2m位の深さまでだそうです。意外に深くないと思いませんか。しかし、根の広がりには地上に出ている木の幅と同じくらいだそうです。深さも大切ですが、より幅が大切といったところでしょうか。また、根の量の80~90%が、深さ30cmくらいまでにあるのだそうです。根の役割は主に2つあり、1つは土中の水分や栄養分を吸い上げること、2つめは木が倒れないように根を張ることです。水分や栄養分を吸い上げるのは、細根といって、その字の通り細い根の役目です。木が倒れないように支えるには、幹のように太くなった根（支持根）の役目となります。何にしても、根がしっかりと育っていないと大きな木にはなれない、ということは間違いのないようです。



今、子どもたちに、「あなたの夢は何ですか？」と聞くと、どう答えてくれるのでしょうか。きっといろいろな夢を話してくれると思います。そのためには土台作りが大切になるわけです。私たち大人には、子どもたちが夢を実現するために、根を育てる（＝土台作り）大切さを伝え、その成長を助ける責任があると感じています。ただ、あまり水をあげすぎると根腐れを起こし枯れてしまうので、注意しなければいけませんね。加減はむずかしいです。



もうひとつ、『根』ということばが入った相田さんのことばがありました。

**花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだな**

『根』は見えないところで育っています。見えないところが大切なんですね。

